

平成 27 年 9 月 1 日

# 南の風 145

南部ミニバスケットボール連盟  
会 長 藤原 敬一

144号の続きです。

パスエントリーは大切な要素を含んでいます。まず、プレスの運びに役立つことです。ドリブルで運ぶと、どうしてもトラップやダブルチームにかかり易くなります。また、パスがつながるとアウトナンバーになり易く、攻撃の幅が広がります。

そして、フロントコートへのエントリーパスがタイミングよく行われると、合わせもスムーズに行きます。ぜひ各チームで考えてみてください。

それでは、全中の女子観戦記を書きます。

今年は8月23日に、女子予選リーグを観戦に奥州総合体育館に行ってきました。

まずよかったことは、女子の2チーム（坂本と相模女子）が決勝トーナメントに残ったことです。さらに、素晴らしかったことは、坂本中が第3位、相模女子がベスト8という結果でした。ただ残念だったのは、ベスト4を懸けて両チームが当たってしまったことです。しかも坂本VS相模女子は、51対50という大接戦でした。決勝戦で観たかった組み合わせです。

予選リーグを観る限り、この2チームは全中出場中トップレベルの実力がありません。その根拠は、スターター5人（合わせて10人）の運動能力、スキルのクオリティーの高さです。将来が楽しみな選手たちでした。

坂本中は、準決勝で優勝した所沢山口と当たりました。4点差という大接戦でした。今回の大会の中で、所沢山口を一番苦しめたのが坂本でした。決勝の石川県の布水と所沢山口のゲームは、22点差がついてしまいました。

両チームの皆さん、素晴らしいゲームを見せてもらい、本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。来年はぜひ横浜の中学校に全中に行ってほしいと感じました。

神奈川県が決勝トーナメントに残ったのは、昭和61年度に笹下中（中原 貴子、旧姓加藤貴子が在籍）が準優勝、大道中が第3位になって以来です。本当に快挙でした。

さて感想です。

ずばり書きます。経験（場馴れ）は極めて大事です。そして経験を指導することはできません。

全中常連のチーム《藤浪中（東海地区1位は）、二島中（九州地区1位）、所沢山口（関東1位）》は戦い方を知っています。それは次の3点から感じる事ができました。

①タクティクス、②ニュートラルボールへの対処、③リバウンドからのトランジションです。

①についてです。予選の二島VS坂本のゲームです。長身者の多い坂本に対して二島は、1Qの出だしからオールコートのマンツーマンプレスでした。徹底して坂本のエースセンター（180cm）にボールを入れさせない作戦です。常にセンターに一人がフルフロントで付き、裏のロブパスには逆サイドの3線がヘルプと言う布陣でした。また、パッサーにトレースしたことも正解でした。次号に続きます。